

臨時国会開会へ

日本の裏側ブラジルのリオデジャネイロでは、オリンピックに続きパラリンピックが9月7日に開幕し、熱戦が繰り広げられています。勝敗の行方もさることながら、障害を感じさせない選手の力強いプレーは、全世界の人々に生きる力と勇気を与えているものと思います。今大会では、IPC（国際パラリンピック委員会）がドーピング問題からロシア選手団の参加を認めないとする、IOC（国際オリンピック委員会）とは異なる厳しい判断を下しました。パラリンピックに出場する選手は治療の面からも薬に接する機会も多いと推測され、うっかりドーピングも含め、その対策には十分留意しておく必要があると考えます。

さて、参議院選挙から約2ヶ月を過ぎ今月末には臨時国会の召集が予定されています。この国会では、第2次補正予算案やTPP関連法案などの重要案件の審議が予定され、新党首に蓮舫議員を選んだ民進党をはじめとする野党と与党との激しい論戦が繰り広げられるものと思われまます。我が自民党も国会の開会に向けて党内の組織体制が整い、私は自民党総務副会長に任命されました。

自民党の総務会は、党大会、両院議員総会に次ぐ自民党の意思決定機関で、党内に常設する最高位の意思決定機関であり、25名の総務により構成されています。細田博之衆議院議員が会長を務め、会長代行、会長代理を含む7名の副会長が選任されています。総務会は党の運営及び国会活動に関する重要事項を審議決定することが党則に規定され、内閣が国会に提出する議案は、閣議決定前に総務会で事前承認するのが原則となっています。会長を補佐し、この重責を果たして行きたいと思ひます。

また、先月末には各省庁の平成29年度予算の概算要求が提出されました。要求総額は101兆4707億円となり、3年連続での100兆円超えとなりました。厚生労働省の要求額は31兆1217億円、平成28年度当初予算に比べてプラス2.7%、8108億円の増額要求となっています。このうち年金・医療等に係る経費は、高齢化に伴う社会保障費の自然増分として6400億円を加え、前年度当初予算比2.3%増の総額29兆1060億円となっています。

この他、厚生労働省は「医務総監」（仮称、次官級ポスト）の新設、並びに直面する働き方改革、少子化・子育て支援対策への的確に対応するため、労働関係部局の再編・新設を要求しています。医務総監については、医療・保健分野では部局が連携して対応の必要な重要課題が多数あること、感染症等の健康危機管理をはじめ外交における重要性も増大していることから、これらの重要施策を包括的に管理する必要があるとしています。

これから年末の政府予算編成に向けて、政府内での調整が進められることとなります。